

◆ 平成30年度活動報告シート ◆

団体名：熊谷市ムサシトミヨをまもる会

21A-34

代表者：会長 江守和枝

URL：

1. 活動が必要とされた状況

希少淡水魚「トゲウオ科ムサシトミヨ」の保護・保存と啓発活動

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

実施時期 平成31年2月9日 13時30分

～16時 熊谷市立文化センター文化会館

参加人数 243名

活動内容 熊谷市ムサシトミヨをまもる会設立30周年記念講演会-世界で熊谷だけに生き残った魚-「次世代までムサシトミヨがすめる環境をまもろう」をスローガンに開催。

まもる会の活動報告では江守会長が30年の歩みについて説明、基調講演では環境科学国際センター金澤光氏が産卵行動に関するトミヨダンスなどの求愛行動の最新研究の成果を発表した。30年以上、繁殖活動を続けてきた同市佐谷田小、久下小、熊谷東中の児童・生徒が活動報告をし、佐谷田小で15年前にムサシトミヨを題材に作詞作曲した「ぼくらができること」の合唱も披露した。最後に繁殖報告した児童・生徒から金澤光氏に対して普段から疑問に感じていたムサシトミヨの生態や繁殖に関する質疑応答があった。



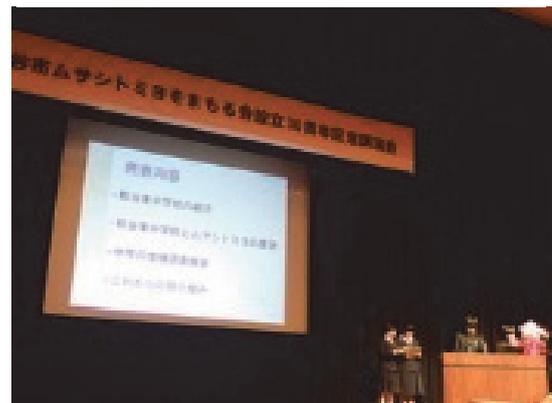
30年の歩み



基調講演

3. 活動の成果

県民、市民にムサシトミヨを知ってもらうことができ、希少魚を保護する意識の向上が期待される。早速、講演会に参加した県民が生息地の見学に来られ、今後、生息地への来客数は増加する見込み。また、2月10日付け朝日新聞埼玉版、2月17日付け埼玉新聞に講演会の様子が掲載された。



繁殖報告

4. 今後に残された課題

会員の高齢化と地域住民参加者が少ないことにある。地域に根ざした環境団体としてさらなるリーダーシップをとりながら、会員数を増やし活動したい。現在は会費と県・市からの助成金で運営しているが、NPO法人としての自立を模索している。